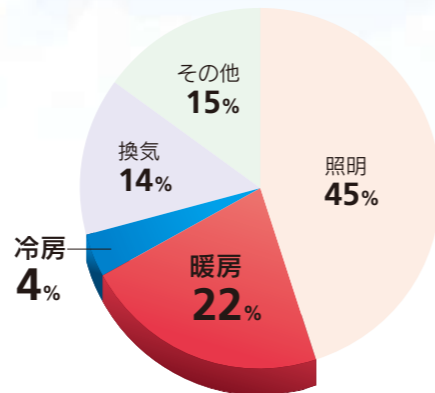


# 窓ガラスにできるエコと快適。

## 学校施設におけるエネルギー消費量の約 $\frac{1}{4}$ が冷暖房

学校施設におけるエネルギー消費量は、7割以上が電力由来。東京地域のモデル学校における年間エネルギー消費量の構成をみると約 $\frac{1}{4}$ が冷暖房による電力消費となっています。冷暖房効率の改善によってエコ性能の大幅な向上が期待できます。

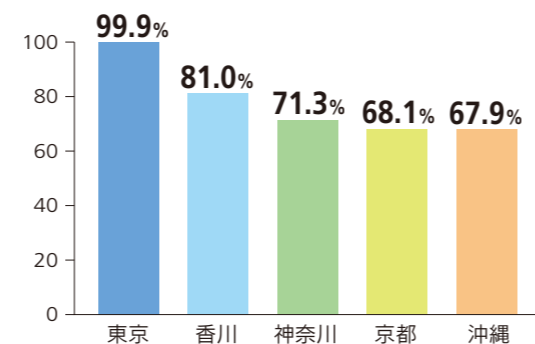
■年間エネルギー消費量の構成



## 高まる公立小中学校のエアコン設置率、東京では99.9%

公立小中学校のエアコン設置率は、年々増加の一途を辿っています。文部科学省の発表資料によると、平成10年にはわずか3.7%だったエアコン設置率が平成26年には32.8%に。東京にいたっては99.9%に達しています。花粉症やPM2.5による大気汚染などもあり、今後もエアコン設置率は向上していくことでしょう。冷暖房効率はますます重要となります。

■都道府県別 公立小中学校エアコン設置率 BEST5



## 学校のエコと快適性向上に窓ガラスの影響は多大

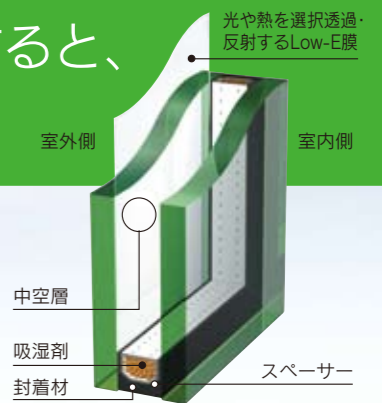
学校施設は、延べ床面積に対する窓面積の比率が高く、天井高及び空間的な連続性も高くなっています。必然的に窓からの採光や暖房効率など、窓ガラスの性能が大きく影響を及ぼします。学校のエコと快適性向上のために、窓ガラスができることは、たくさんありそうです。



POINT

冷暖房効率と快適性を高める窓ガラスが必要とされます。

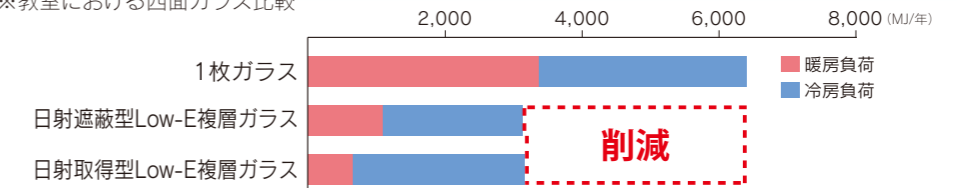
窓ガラスをLow-E複層ガラスにすると、学校がエコで快適になります。



## 1枚ガラスの約 $\frac{1}{2}$ の省エネ効果を発揮

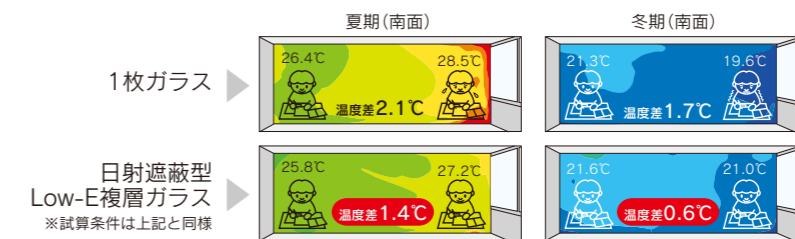
<冷暖房費の削減効果>

※教室における西面ガラス比較

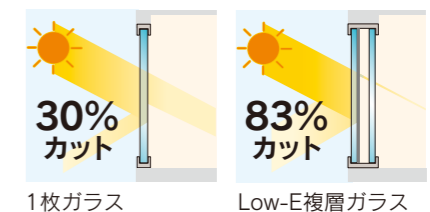


<試算条件> ・12/1~3/31(暖房22℃) ・地域:東京 ・換気条件:0.5回/h  
 ・6/1~9/30(冷房26℃) ・在室人数:36人(8時~16時)

## 窓側と廊下側の温度差を軽減

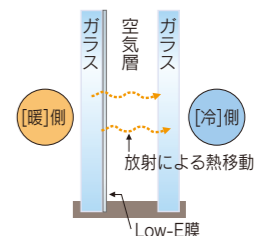


## Low-E膜が紫外線をカットします



## Low-Eとは?

Low-EのEはEmissivityの略で、放射。つまり『低放射』を意味します。複層ガラスの空気層では、放射による熱の移動があります。イラストの【暖】側に、Low-E膜をコートしたLow-Eガラスを使うことで、熱の移動を少なくすることが出来ます。



## 選べるAGCのLow-E

